

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月）

留学先：The University of Findlay

氏名：岸本有実子

【はじめに】

やっとフィンドレーに冬がやってきました。最近では-10度を下回ることもたびたびあり、毎日マフラーと帽子が手放せません。特に耳や鼻が凍りそうな風が吹くので目出し帽のように顔をガードして歩いています。降雪もあり、やっと地元の冬を体験できて嬉しいです。さて、先月の報告書でも述べましたが、冬休みの間約3週間、アメリカとカナダのいくつかの都市を巡る旅に出てきました。今回の報告書ではこの旅の後半の様子と、その後始まった春学期のこれまでの様子、そして今学期挑戦したいことを紹介します。

【冬休みの旅で得たもの】

前回の報告書ではワシントン、ボルチモアまでの様子を紹介しました。その後私と小野さんはフィラデルフィア、オタワを訪れました。フィラデルフィアではアメリカの独立記念に関する建造物や博物館などを訪れ、アメリカ独立の経緯を学ぶことができました。また、オタワでは小野さんが以前ホームステイしたことのあるご家庭に約1週間お邪魔し、ゆっくりと体を休めることができました。ちょうどその期間がクリスマスと同時期だったので、カナダでの伝統的なクリスマスの過ごし方を体験しました。家庭料理やクリスマスショッピングなどをホストファミリーと楽しむことができました。

私と小野さんはオタワで分かれ、別ルートで旅を続けました。私はカウチサーフィンを通じてトロント大学の近くにお住いのご夫婦に許可を得て、そこに2泊3日で滞在しました。そのご夫婦は日本にとっても興味を持っておられ、少し日本語や日本の習慣について伝えることができました。また、彼らが中東出身だったので世界情勢や彼らの国の習慣などについても教えてもらいました。トロントでの初日の夜、英語科のジョーンズ先生が偶然トロントのご両親のところに滞在されていたため、ディナーに招待していただきました。大学での様子、旅の途中で経験した出来事などをジョーンズ先生に報告したり、先生のご家族と話したりできました。次の日は滞在先のご夫婦とカフェや博物館に向向いて楽しい時間を過ごすことができました。

トロントを出た後、私は飛行機でニューヨークに向かいました。そこで英語科のメンバーと再会を果たし、家を借りて4日間滞在しました。学校やインターンでの様子を寝る前に語り合ったり、様々な観光名所を巡ったり、ニューヨークならではの食事を楽しんだり充実した毎日を送ることができました。何よりも、タイムズスクエアで新年を迎えることができたのは一番の思い出です。毎年大勢の人が訪れ、長時間待機を余儀なくされるとは聞いていたのですが、加えて今年は世界情勢の悪化もあってか警備がより厳重で張りつめた空気が漂っていました。そのためかなり疲労がたまったのですが、ポールドロップの

瞬間は人々の歓喜の声があたり一面に溢れ、とても幸せな気持ちで新年を迎えることができました。その瞬間を友達と迎えることができ、本当に一生残る思い出となりました。次の日も休む間もなくニューヨークを満喫し、別れの日がやってきました。もちろん寂しかったのですが、次に会う時を楽しみに英語科の友達と別れました。無事にフィンドレーの下宿先にたどり着いた時にはどっと疲労感と現実（2日後には授業が始まりました）が押し寄せてきましたが、総じてとても学びと喜びに満ちた旅となりました。何よりも大きかったのは、実際に地元の人々と生活することによってアメリカやカナダの暮らしを体感し、考え方や生活観に触れることができたことです。またそれらの国の良い点だけでなく、社会問題や政治についても少し学ぶことができました。これぞ私が本当に知りたかったことであり、こちらに来る前にやりたかったことだったので達成できてよかったです。長期休暇はもうありませんが、9日間の春休みが2月末にあるため、その期間も世界をもっと知るために有効活用したいと思います。

【春学期】

旅が終わったと同時に、春学期が始まりました。冬休みとは全く違う普段の生活が再びスタートしたので、疲れが抜けきらないままのスタートとなりました。今学期は秋学期とほぼ変わらない授業数ですが、違う授業に挑戦しています。先学期から取っているスペイン語とライティングは続けていますが、新たに油絵と心理学の授業を取りました。油絵の授業では、これまで専門的な技術や道具についての記事を読んだり白黒で濃淡を表現するエクササイズを行ったりしました。今後、絵を描くと同時に色の与える印象や具体物をいかにそのままの姿で二次元の世界に表現するかといった内容の講義があるそうです。心理学は、人々の行動を科学的に分析していくということに興味があったので取ることにしました。これまでのところテキストを基にした講義が中心の授業です。スライドの内容や先生の英語を聞き取って理解することはできるのですが、英語でメモを取るのに苦労しています。授業中のメモをもとに小テストがあるので聞き逃したところはクラスメイトや先生に直接質問したり、テキストでその内容を確認したりしています。もちろん授業前後の予習復習は欠かせません。

これから課題の量が増えていくと同時に新たに始まるボランティアやイベントもあるので、体調を崩さない程度に一生懸命取り組みたいと思います。

【今学期挑戦したいこと】

今学期は新しい授業もそうですが、新たにボランティア活動に挑戦します。先学期参加していた FundaySunday は続けますが、Genki Kids は授業が同じ時間帯にあるため参加できなくなりました。その代わり、木曜の午後にメンタリングというプログラムに参加します。これは、地域の小学生と留学生の関係づくりを推進する、いわば子どもたちと世界をつなぐきっかけづくりをする活動です。日本人学生だけでなくさまざまな国からの留学

生が参加するので、新たな友達も作りたいです。その他、3月にはフィンドレー大学の留学生が自国について発表しあう大きなイベントもあるそうなので、学生たちで協力して日本を精一杯アピールしたいと思います。帰国まで残り4か月を切り、ぼんやりしては行かないと改めて気を引き締めていこうと思います。来月は、授業やボランティアの様子について報告します。それでは、また来月の報告書で。



←オタワで体験したクリスマスの様子です。親戚がそれぞれ手作りの料理を持ち寄るポットラック形式で、暖かい家庭の味を体験することができました。

→ニューヨークでは、福井大学の仲間と感動の再会を果たし、共に新年を迎えることができました。気分を新たに今年も頑張っていこうと思います。

